

スカウト おおいた

第39号

2014年 6月 8日 発行
日本ボーイスカウト大分県連盟
編集 県連総務委員会



『スカウト運動の基本に基づいて、 よりよいスカウトを育てよう!』

日本ボーイスカウト大分県連盟コミッショナー
真田 康広

この4月から大分県連盟コミッショナーを拝命しました。誠に任重くして道遠ですが、皆様と共にひとりでも多くよりよいスカウトを育てて行くよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願ひします。

古の中国の言葉に、「行不由徑；行くに徑こみちに由らず。」（論語）があります。“安易に脇道や近道、抜け道などはさがさずに堂々と表通りに行くがよい。”という意味にとらえています。私にとっては「Scouting」と重なり、意識して大切にしている教えです。

大分県連盟では昨年に引き続き、表題の事業スローガンを掲げ各種重点施策に取り組んでいるところです。実はこれには「～まずは班制教育の徹底!～」が本来付記されているのです。今年は第

9回九州沖縄野営大会（9KC）が熊本県阿蘇市で開催されますが、参加スカウトは活動の基本となる自発性・自主性によって実施する班活動（パトロール）に積極的に取り組み、思い出に残る大会となるよう期待します。各団・隊指導者におかれましては、この大会参加が各班の一年間の総仕上げとなるようご支援をお願いする次第です。

準備を含め大会に真剣に臨むことが、結果として社会から評価されるスカウトの育成や新たな仲間への拡大に寄与するからです。

さらに我らの道は来年に控えた23WSJ（第23回世界ジャンボリー大会）へもつながっています。大分県代表スカウトの参加とあわせ多くの海外スカウトの受入・ホームステイなどに向けて、団・県連盟をあげた関係各位の絶大なる支援をお願いします。

『事務局が新体制でスタートしました』

永年ご担当いただきました阿南事務局長が退任をされ、新事務局長に内田日出男（前県連盟コミッショナー）が就任、事務局員に宮崎美夏さんを採用して、事務局が新体制でスタートしました。

しかしながら、事務局は、常駐体制でなく火・水・木曜日の10時から15時と限られた時間で

の勤務となりますので、ご理解の上ご協力をお願いいたします。なお、外出等で不在の場合もありますが、皆さまのお立ち寄りをお待ちしています。



新事務局員 宮崎 美夏さん

団委員長会同が開催されました

平成26年1月12日
大分市コンパルホール

平成26年のスタートとして、県内安全を確の各団団委員長、副団委員長が一同に会す団委員長会同が開催されました。理事長。県連盟コミッショナーと活発で建設的な意見交換が行われました。

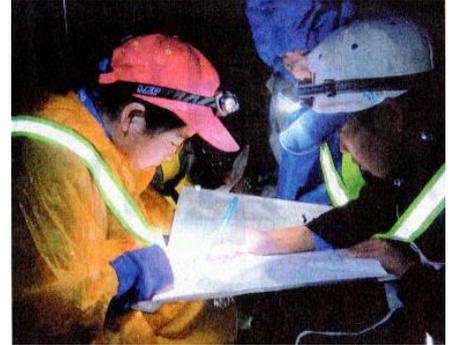
その後各団の指導者も参加し、新春ご例会が開催され、48名の参加者がありました。

大力理事の力作、スカウトマーク入りのテディベアは抽選会の目玉景品でした。



平成26年3月29~30日
僕ら大分2団トラ班はナイトハイクに向けて班集会などの訓練をしてきました。しかし、キャンプなどで優秀班は2団のドッグ班がとっており、優勝できるか本当に心配で自信がありませんでした。

距離が26kmと経験した中で最も長く、さらに悪天候と良くないコンディションの中でナイトハイクが始まりました。スタート地点で少し出遅れたものの、前半は順調に歩いていきました。



しかし、後半になるとポイント間が長く僕らの足を痛めるなど、しだいにきつくなりました。それでも、誰一人としてあきらめなかったため思ってもいなかった1位をとることができたのだと思います。

8月には九州キャンポリーが開催されますので、それに向けて班全体のスキルを上げて生きたいです。

大分第2団 ボーイ隊トラ班 班長

別大毎日マラソン奉仕

平成26年2月2日

毎年恒例の別大毎日マラソンの奉仕を大分市内と由布市の5団合同で2月2日に行いました。

陸上競技場で、参加選手の荷物を運んだり会場内の警備にあたりました。

一番寒い時期に行う奉仕活動は大変ですが、参加選手のためにスカウトも一生懸命に奉仕を行い有意義な一日を過ごしました。



大分
地区夜
間ハイ
ク

菊章 隼章 交付

菊章

池田 みふゆ 別府第9団
阿部 匠真 別府第9団
横山 雅大 大分第5団
浦田 竜馬 大分第2団

隼章

稲垣 佳那子 中津第8団

平成26年3月に菊章・隼章を取得された方々です。誠にありがとうございます。



※ 隼章受章写真は、各団紹介の中津第8団の写真で紹介

各団活動

中津第8団

中津第8団のベンチャー隊には「スカウト・ルーム」と呼ばれている一室があります。隊集会は基本的にこの「スカウト・ルーム」で開催され、活動報告やプロジェクトアワード取得のための会議をおこなっています。

このスカウト・ルームの最大の特徴は、スカウトが望めばいつでも使用できることです。駅に近いという利便性もあり、スカウト活動以外、例えば学校の勉強も自習室として使用するスカウトもいます。



現在わが隊では、稲垣くんが隼章を3月に取得し、次なる目標である富士章に挑戦中です。彼女は受験生でもあり、スカウト活動と学業の両立に日々努力しています。このスカウト・ルームが両立の糧になればと願うばかりです。

別府第9団

団や隊の年間プログラムの計画実施において、長年にわたる伝統行事の継承と、マンネリ防止の視点から、今年は冬季行事の耐寒キャンプのプロに「B-P祭」を織り込み、BVS・CS・SS・VS各隊と指導者・保護者が50余名の力を結集して実施できた。



マイナス気温の中での耐寒キャンプは、各隊が目指す耐寒活動の所期の目的を達成することは勿論、創始者B-Pの偉業の意義とわれわれスカウト活動

を再認識し、感謝の心での「餅つき大会」や、参加者全員の炊飯による「夕食会」、また、各隊それぞれの成長度に併せたB-Pの姿をも学習させることができた。

大分第1団

ボーイ隊では、今年初めてスケートを実施しました。スケートが初めてというスカウトはいませんでした。みんな初心者同様に何度か転びながら少しずつ上達し、冬を満喫していました。



スカウト達は、また来年もスケートをやりたいようでしたが、果たして来年の年プロにスケートはあるのでしょうか・・・？

大分第2団

BS隊VS隊は、5月3～5日に柞原八幡宮にてそれぞれ訓練キャンプを行いました。

今回の目的は、キャンプ技能の向上と班活動内の役割分担を重点的に訓練しました。たちかまどを工作したりアルミ缶を利用してご飯を炊いたりしました。VS隊は高崎山、魚釣りに行きました。コノシロを持ち帰り骨切後、素揚げにしてBS隊におすそ分けまでありました。

グリーンバーが役務を理解し協力できる関係になったこと大きな収穫でした。今回出た点を9KCに向けて修正していきたいと思います、



大分第5団

大分5団では5月5日こどもの日に玖珠で毎年開催されている日本童話祭に参しました。平成7年世界ボーイスカウト運動創始100周年を記念して県下全団で行進して以来、毎年参加しています。

ことしの5団の仮装は『そんごくう』。スカウト・指



導者・保護者は孫悟空に登場する妖怪や動物の衣装や小道具を4月の集会で皆で創ってパレードに参加・・・なんと最優秀の仮装大賞を獲得。7回目の出場の快挙でした。

その後、おとぎツアーと題して竹田の岡城址を見学、新緑の中で楽しい団ハイクとなりました。

童話祭のメインテーマは『子供と夢を！！』

スカウトの子供たちのみならず大人も子供の目線で童心に帰って一緒に遊び楽しみながら夢を育む、久留島武彦の遺した世界はスカウト運動、そのものだと思いを新たにしたい一日でした。

由布第2団

2月11日、由布第2団はB-P祭を行いました。

日頃なかなか顔を合わすことのない各隊のスカウトたち。カブ隊は、ボーイ隊のお兄さん・お姉さんスカウトと一緒にということでテンションも上がりっぱなしでした。



B-Pのお話、各隊の出し物、ゲーム、イギリス式のティータイムなど内容は盛りだくさん。世界中で活躍しているスカウトの話聞いた後、それぞれの将来

の夢を恥ずかしそうに、しかし、しっかりと語るスカウトたちを頼もしく感じた1日でした。

最後は、真田隊長のハーモニカ伴奏で「世界の総長」をみんなで歌いました。

大分第9団

私たち大分第9団ビーバー隊は、「自然の中みんなと仲良く遊ぼう」と、大分市横尾にある県営高尾山公園をフィールドにして活動しています。

高尾山公園は、高尾山（標高128m）と3つの池を中心に、芝生広場、どんぐりの森、ピクニック広場、郷土植物園、自然歩道等の施設が整備されており自然豊かな場所です。四季折々の自然を楽しむビーバース



カウトの声がいつも響いています。遊びにおいでみんなで遊ぼう！

津久見第1団

5月の隊集会は、THE大分料理をテーマに、津久見の保戸島に伝わる「ひゅうが丼」作りに挑戦しました。「ひゅうが丼」は、まぐろの切身をゴマや醤油、砂糖、ねぎなどを入れたゴマだれと和え、ご飯の上のせた郷土料理です。今度は、海辺のキャンプに調味料だけ持って行き、自分達が釣った魚で豪快に食べたいと盛り上がりました。

午後からは、つくみん公園に移動し、風の強い中でも素早く設営できるよう、野営訓練を行いました。

